

湘南市庁舎整備計画について

 石本建築事務所



■計画地概要

所在地	滋賀県湖南市中央一丁目1番地
敷地面積	14,388.80 m ²
区域区分	市街化区域
用途地域	近隣商業地域
防火地域	22条指定区域
地区・区域	大津湖南都市計画区域 河川法55条保全区域
建蔽率	80%
容積率	200%
前面道路	【東面】市道鳥井立梅ノ木線(幅員4.0m) 【北面】市道針平松線(幅員12.0m) 【南面】主要地方道草津伊賀線(幅員16.0m)
日影規制	5m日影 5時間 10m日影 3時間

■建物概要

主要用途	庁舎、保健センター、市民交流施設
耐火性能	耐火建築物
階数	地上4階建
建物高さ	約22m
建築面積	【庁舎】3,210.64 m ²
延床面積	【庁舎】11,015.37 m ²
駐車台数	367台(臨時駐車場合む)
駐輪台数	50台

■構造概要

新庁舎	
構造形式	免震構造(基礎免震)
規模	地上4階、塔屋1階
構造種別	地上 鉄骨造
架構形式	ラーメン構造(一部ブリース付ラーメン架構)

■電気設備概要

受変電設備	変圧器:油入変圧器(トップランナー型) 想定容量:単相3線式変圧器 200kVA×3台(常用) 200kVA×2台(保安・非常) :三相3線式変圧器 500kVA×2台(常用) 200kVA×1台(保安・非常)
非常用発電設備	発電機:三相3線210V450kVA エンジン:ディーゼルエンジン 燃料:A重油を検討
幹線動力設備	動力 三相3線200V 電灯 単相3線200V/100V
照明設備	LED照明(人感センサー、集中管理)
雷保護設備	棟上導体方式 新JISレベルIII
自動火災報知設備	R型受信機

■空調換気設備概要

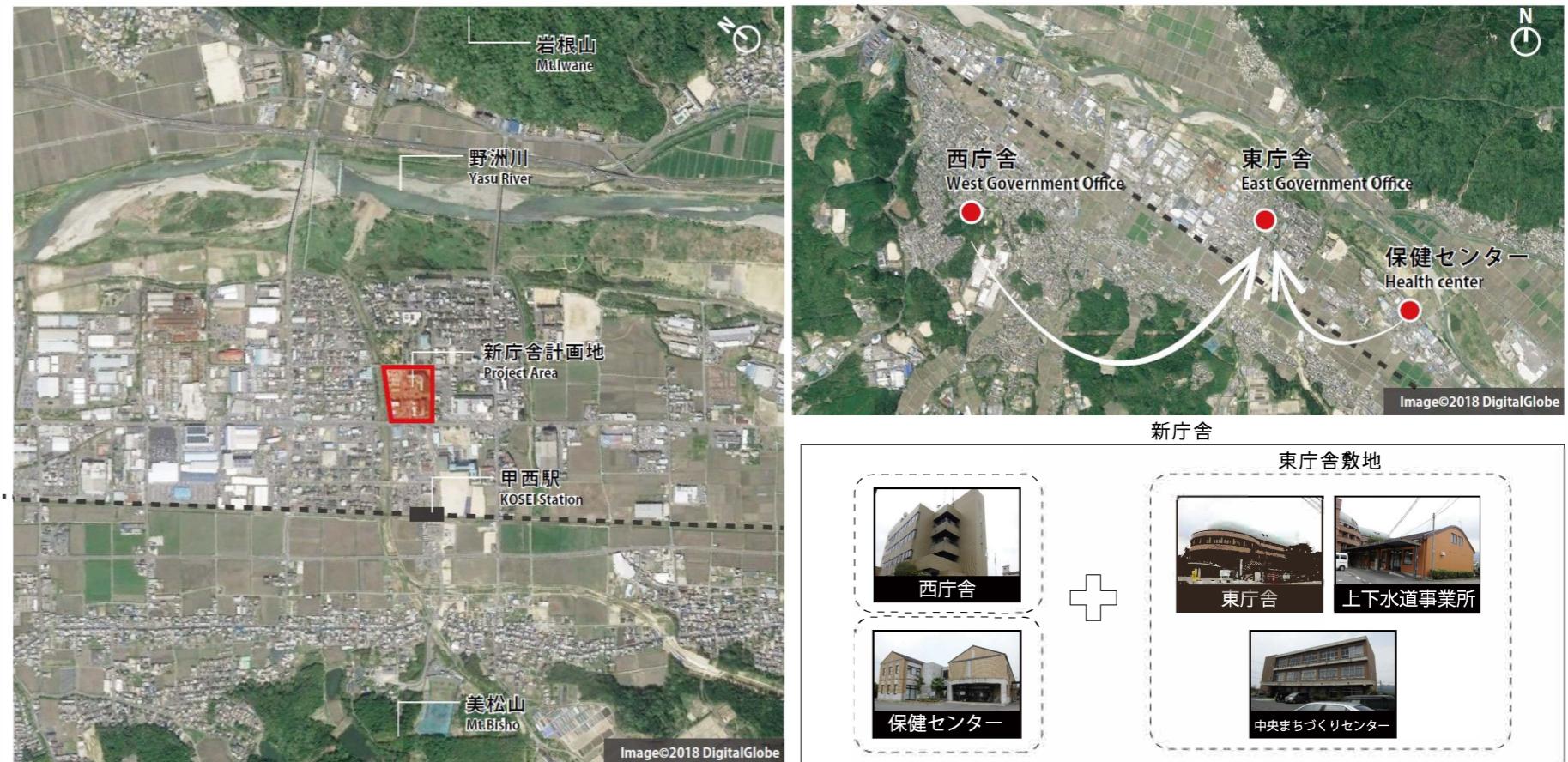
熱源設備	排熱投入型ガス焚冷温水発生機 ビル用マルチエアコン
空調設備	外気処理空調機+ビルマル用室内機等
換気設備	外気処理空調機(全熱交換器組込)による第一種換気方式(空調室) 排気ファンによる第三種換気方式(非空調室)
排煙設備	自然排煙方式
監視方式	中央監視装置+空調集中リモコン、自動制御設備

■給排水衛生設備概要

上水給水設備	鋼板製受水槽+加圧給水ポンプユニット
雑用水給水設備	地下ピット水槽+加圧給水ポンプユニット
給湯設備	小型電気温水器、ガス給湯(シャワー室)
排水設備	屋内分流方式
衛生器具設備	節水型衛生器具
消火設備	屋内消火栓設備、消火器

■案内図

甲西駅から徒歩圏内にある南北に自然豊かな風景が望める現東庁舎の敷地に、複合庁舎を建設します。複合庁舎には、西庁舎を始めとする複数の施設の機能を集約し、行政サービスの充実と効率化を図ります。



■複合庁舎を中心とした新たな中枢拠点の整備

- ・新庁舎の敷地は、甲西文化ホールや森北公園、甲西図書館等の文化ゾーンと甲西駅の中間に位置し、市内を広域につなぐ県道に面する都市拠点の中心に位置します。
- ・周辺施設とのつながりを重視し、地域に開かれた施設整備を行い、「防災」、「交流」、「環境」のそれぞれの機能の向上を図ります。



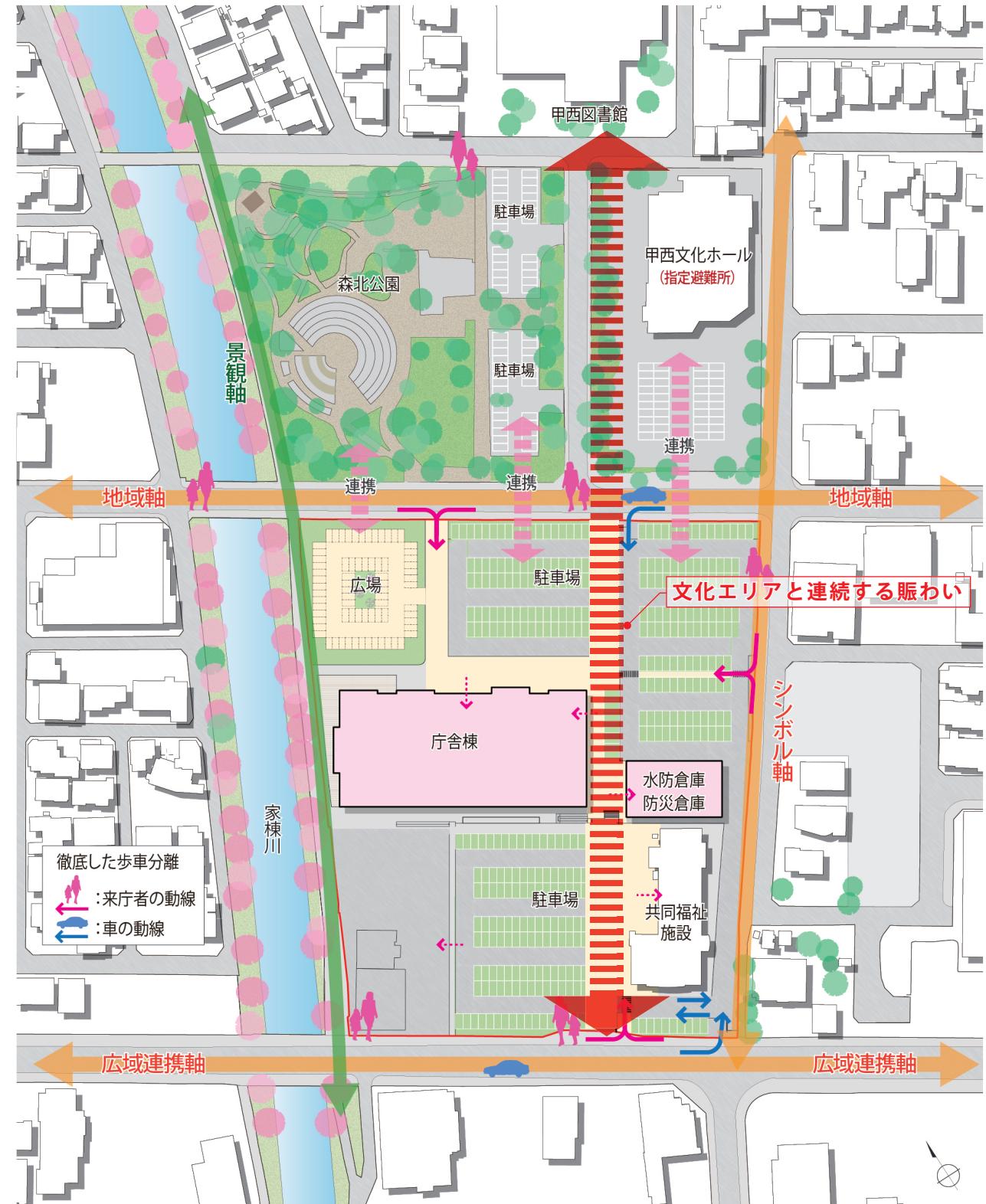
新たな複合拠点から生まれる
「防災」「交流」「環境」ループ

■周辺環境と連続する景観計画

- ・湖南市は遠景としての山並みや野洲川といった優れた自然景観があります。庁舎敷地においても森北公園の木々や家棟川のせせらぎ、桜並木といった豊かな自然環境との調和が重要です。

■緑地を確保したゆとりのある配置計画

- ・新庁舎は南北面から十分な採光を行える東西軸の配置とします。
- ・ゆとりある景観を形成するため、建築物の周囲にできるだけ多くの空地を確保します。
- ・建物は各道路から十分後退した配置とし、周辺の見通しに配慮します。
- ・周辺環境との調和に配慮し、敷地内は緑あふれるランドスケープデザインを計画します。特に、南北に通り抜ける歩行者動線は木陰やベンチ、掲示板等を設けることで、市民が親しみやすく気軽に訪れる能够性を有する散策路とします。

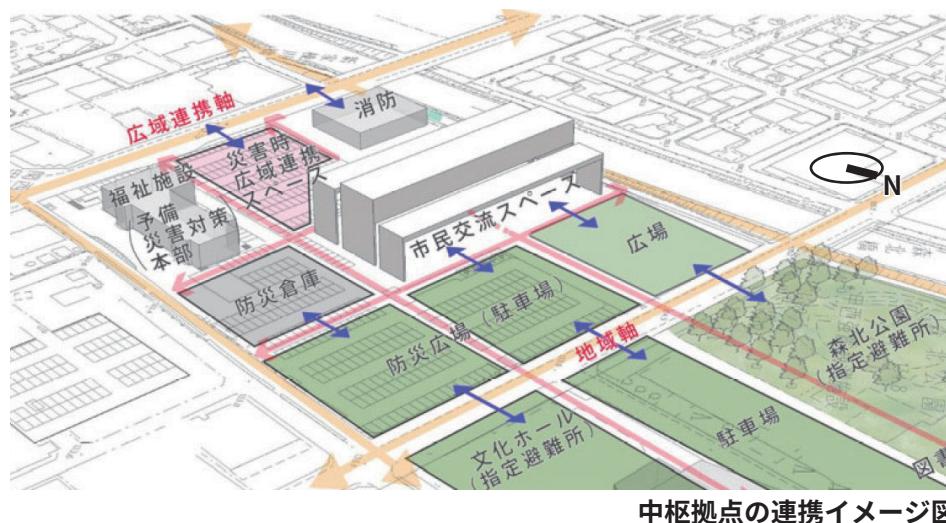


【配置計画の考え方】

- 周辺施設との連携を重視し、「防災」、「交流」、「環境」のそれぞれに配慮した施設・外構計画を行い、中枢拠点としての機能向上を図ります。

【外観デザインの考え方】

- 縦に連続する開口部により、建物を3つのボリュームとして見せ、それぞれの高さを変化させることで、周囲の住宅などへの圧迫感を軽減します。
- 石部宿の歴史を尊重し、かつて近くを東海道が通っていた南面には、水平庇や木ルーバーをデザインに反映し、湖南市の歴史や地域性を感じる外観とします。
- 湖南市の美松山が自生地である「うつくし松」をモチーフとし、外構のデザインを計画します。



【敷地・外構整備の考え方】

- 新庁舎は敷地中央に配置し、近接してまとまりのある駐車場と広場（災害時防災広場）を設けます。森北公園や文化ホールや中学校とのつながりを重視した配置とし、イベント時や災害時の連携を容易にします。
- 新庁舎は南北面から十分な採光を行える東西軸の配置とします。
- 敷地内は、周辺とのつながりを重視し、各面から自由に敷地内に入る入口を設けます。
- 駐車場（広場）に面して市民交流スペースを設け、賑わいを創出するとともに、イベント時・災害時の一体利用を可能にします。
- 敷地内の動線は歩車分離をすることで安全性に配慮します。
- 周辺環境との調和に配慮し、敷地内は緑あふれるランドスケープデザインを計画します。特に、南北に通り抜ける歩行者動線は木陰やベンチ、掲示板等を設けることで、市民が親しみやすく気軽に訪れることができる散策路とします。
- 玄関前にバス停を計画し、車寄せスペースや庁舎内でバスを待つことができる計画とします。



開放的な市民交流スペースがある北側鳥瞰イメージ



県道から続くメインストリートは十分な幅員を確保することで、文化エリアへと賑わいが連続していく計画とします
市民交流スペースや広場に面したキャノピー、庁舎の軒天等には木材を活用し、温かみのある外観とします

■ うつくし松をモチーフとした外構デザイン



国指定天然記念物のうつくし松

- ・湖南市の美松山が自生地である「うつくし松」をモチーフとし、来庁者を迎える庁舎空間「うつくし松モール」を設け、日常的なコミュニティーの場として、緊急時には防災の拠点として機能できるようにします。
- ・外構においては、駐車スペースにも緑地と樹木を配置し、あたたかみのある空間づくりとします。



美し松をモチーフとしたキャノピーにより湖南市らしい庁舎を目指します







■石部宿のまちなみを想起させる外観

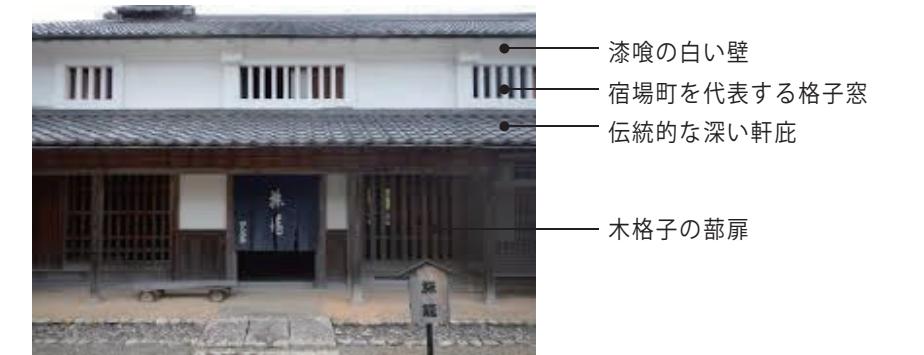
- 旧国道沿いに面した南側の立面は、石部宿のまちなみを想起させる外観デザインとします。モノトーンを基調とし、漆喰の白壁、黒色の屋根、木格子など、ファサードを構成する要素を取り入れることで、伝統的な日本の風景として湖南市のまちなみと相応しい外観とします。



東海道 53 次石部宿



石部宿のまちなみイメージ



石部宿の町並みを代表する立面構成



■ 計画地概要

所在地	滋賀県湖南市中央一丁目1番地
敷地面積	約 21,000 m ²
区域区分	市街化区域
用途地域	近隣商業地域
防火地域	22条指定区域
地区・区域	大津湖南都市計画区域 河川法55条保全区域
建蔽率	80%
容積率	200%
前面道路	【東面】市道鳥井立梅ノ木線 (幅員4.0m) 【北面】市道針平松線 (幅員12.0m) 【南面】主要地方道草津伊賀線 (幅員16.0m)
日影規制	5m日影 5時間 10m日影 3時間

■ 建物概要

主要用途	庁舎、保健センター、市民交流施設
耐火性能	耐火建築物
階数	地上4階建
建物高さ	約22m
建築面積	【庁舎】約3,100 m ²
延床面積	【庁舎】約11,000 m ²
駐車台数	367台(臨時駐車場含む)
駐輪台数	50台

■ 都市計画、既存樹木を生かした緑地整備

- 森北公園や家棟川と一体感のある緑地整備に配慮します。
 - 森北公園や家棟川と一体感のある緑地整備
 - 樹木の保全、活用→既設庁舎のうつくし松を保存
 - 常緑樹を中心にメンテナンス性に配慮した緑化計画を行います。
 - 駐車場の透水性に配慮し、駐車スペースの緑化を検討します。



【現東庁舎に植生するうつくし松】



環境配慮計画

■ZEBを意識した環境配慮計画

(ZEB=ゼロ・エネルギー・ビルディング)

環境に配慮した合理的な建物配置（東西軸配置）、環境負荷低減手法や省エネルギー技術を採用し、一次エネルギー消費量を抑えた環境配慮型庁舎を目指します。

■屋根の形状

- 環境先進庁舎・市民に開かれた庁舎の実現に対して、屋上の全てを有効利用した陸屋根が合理的です。
 - ①太陽光発電 96kw（約 1000 m²）と将来の増設、メンテナンス性に配慮した設置スペース
 - ②敷地の有効利用（緑化、駐車場確保等）に配慮した室外機の屋上設置（非常用発電機など含む）
 - ③将来的な市民開放を想定した屋上スペース（屋上緑化と湖南市の山並みが連続する眺望の確保）

■屋上の設備、工作物

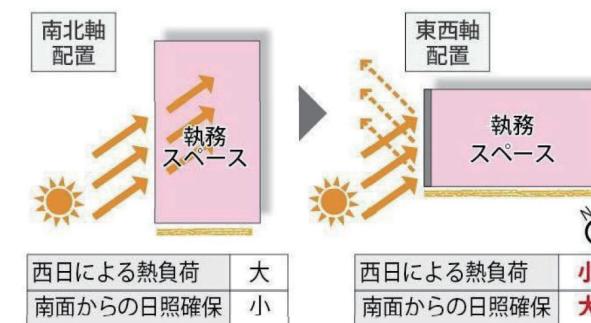
- 屋上に設置する室外機や太陽光パネルは、パラペットやルーバー等で遮蔽を行い、公共の場所から望見されない位置に設けるとともに、建築物との一体化を図ります。

■浸水高さに配慮した床レベルの設定

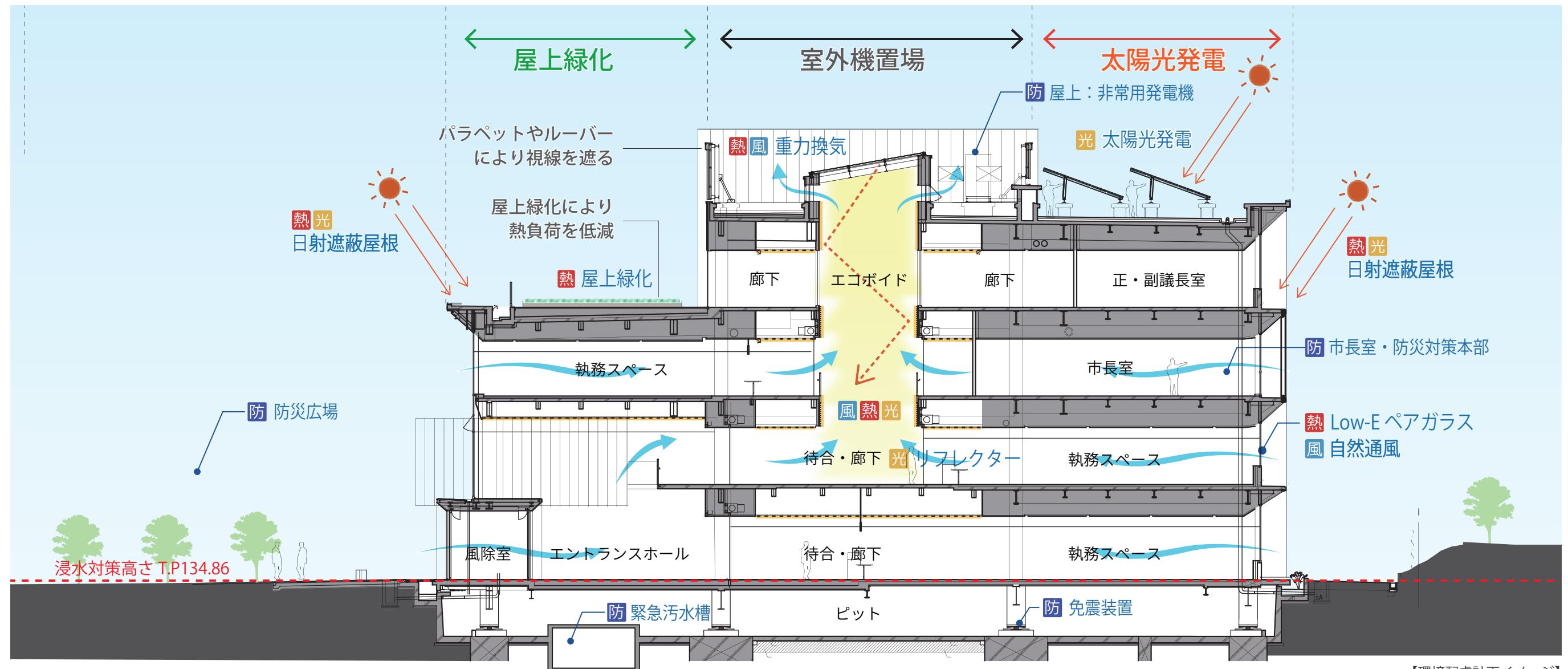
200 年に 1 度の浸水高さより高い位置に 1 階の床レベルを設定し、災害に強い庁舎とします。

■環境合理性の高い庁舎配置

建物を東西軸方向に配置し、東西面の開口部を最小限に抑えることで、朝日、西日による日射熱負荷を合理的に抑制する建物配置とします。



【西側立面：ガラス面を最小限に抑え熱負荷を低減】



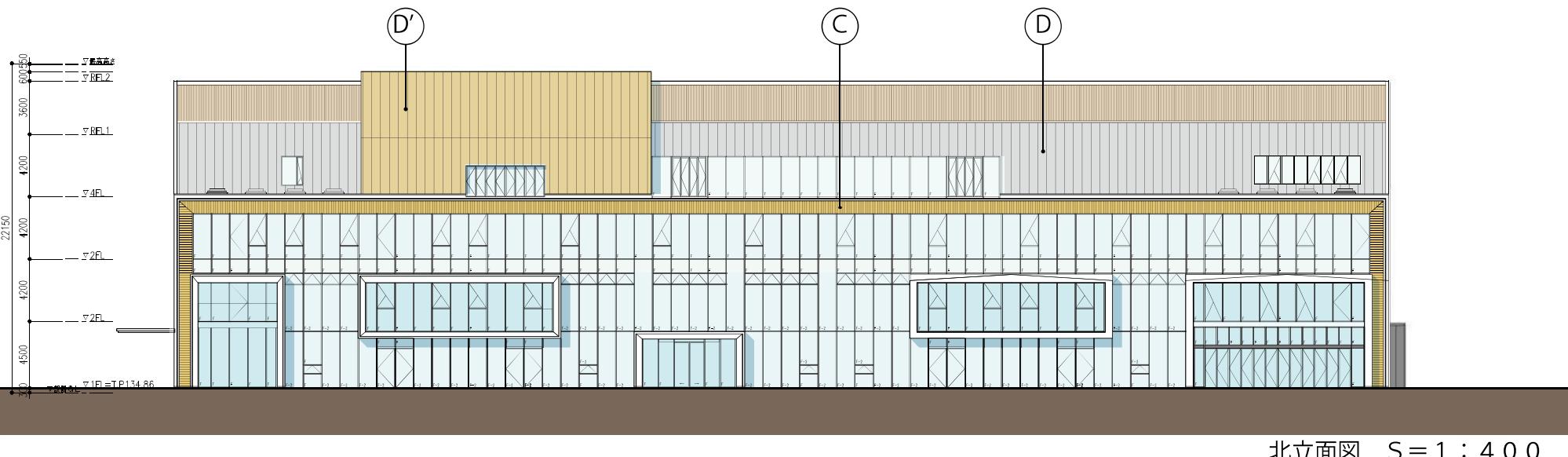
【環境配慮計画イメージ】

色彩計画の考え方

- 施設の外装仕上げは、ガイドラインに則した親しみやすく落ち着いた色彩計画とします。

色相	彩度	明度
	上限値	下限値
0.1R~10G 赤・橙・黄・黄緑・緑系	5以下	4以上
0.1BG~10RP 青緑色・青・紫・赤紫系	2以下	4以上
無彩色	—	4以上

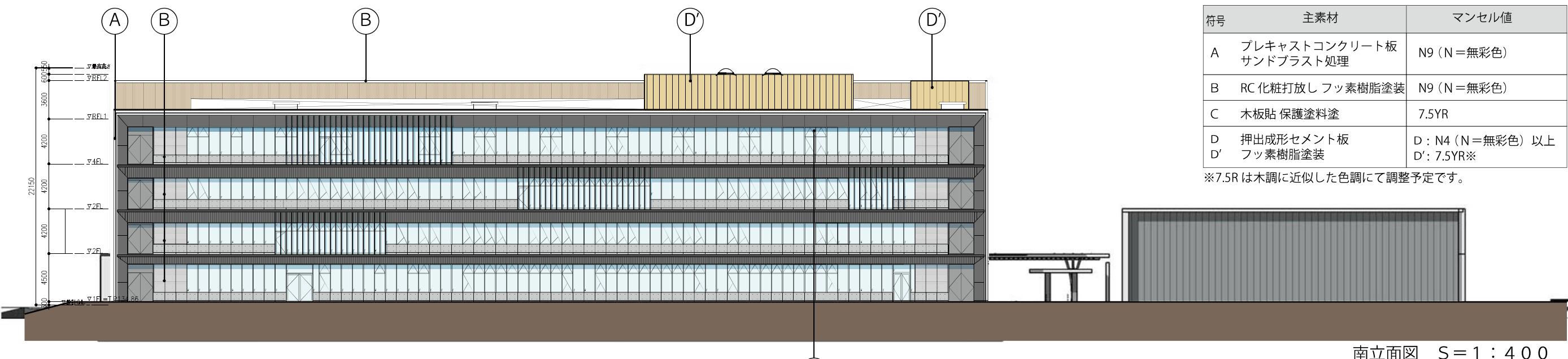
【湖南省公共施設整備のガイドライン】



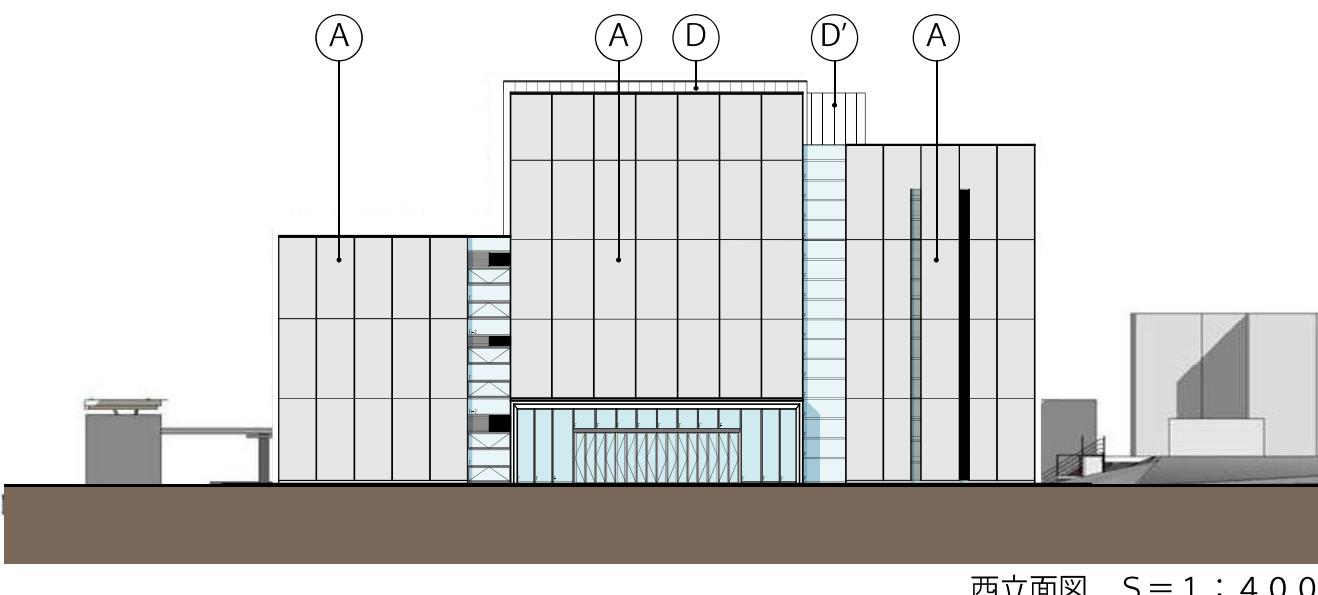
北立面図 S = 1 : 400

符号	主素材	マンセル値
A	プレキャストコンクリート板 サンドブラスト処理	N9 (N=無彩色)
B	RC化粧打放し フッ素樹脂塗装	N9 (N=無彩色)
C	木板貼 保護塗料塗	7.5YR
D	押出成形セメント板 フッ素樹脂塗装	D : N4 (N=無彩色) 以上
D'		D' : 7.5YR※

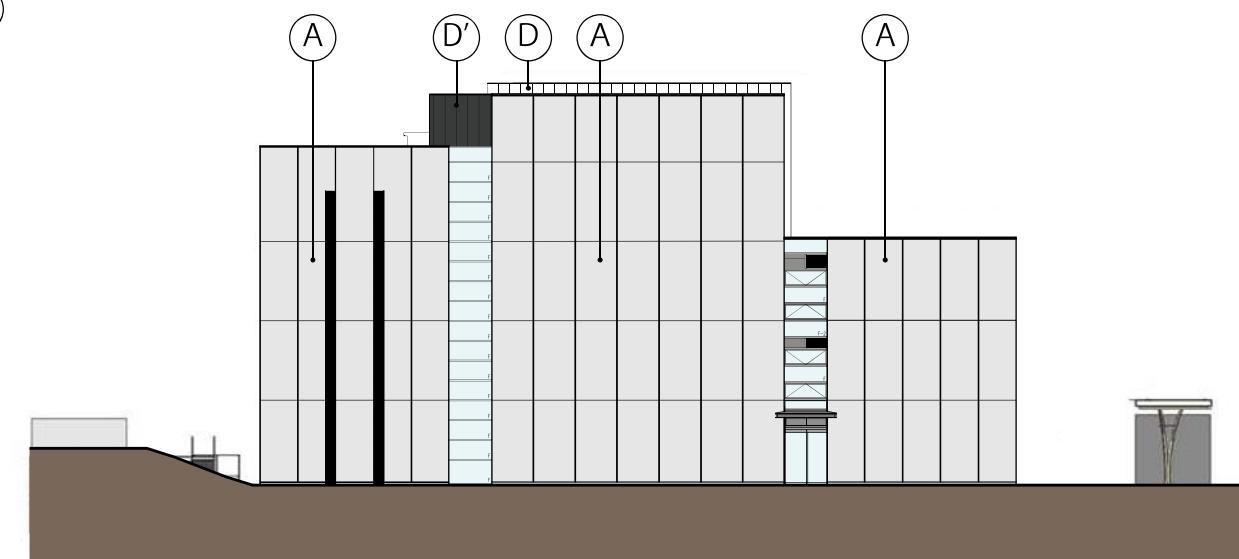
※7.5Rは木調に近似した色調にて調整予定です。



南立面図 S = 1 : 400



西立面図 S = 1 : 400



東立面図 S = 1 : 400

平面計画

□わかりやすく親しみのある市民窓口フロア

- ・1, 2階の市民窓口を中心に市民が利用するスペースには、びわ湖材（木材）を用い、親しみある庁舎とします。
- ・メインエントランスから窓口や市民交流スペースまでの見通せる1, 2階とすることで、目的の場所がわかりやすい計画とします。

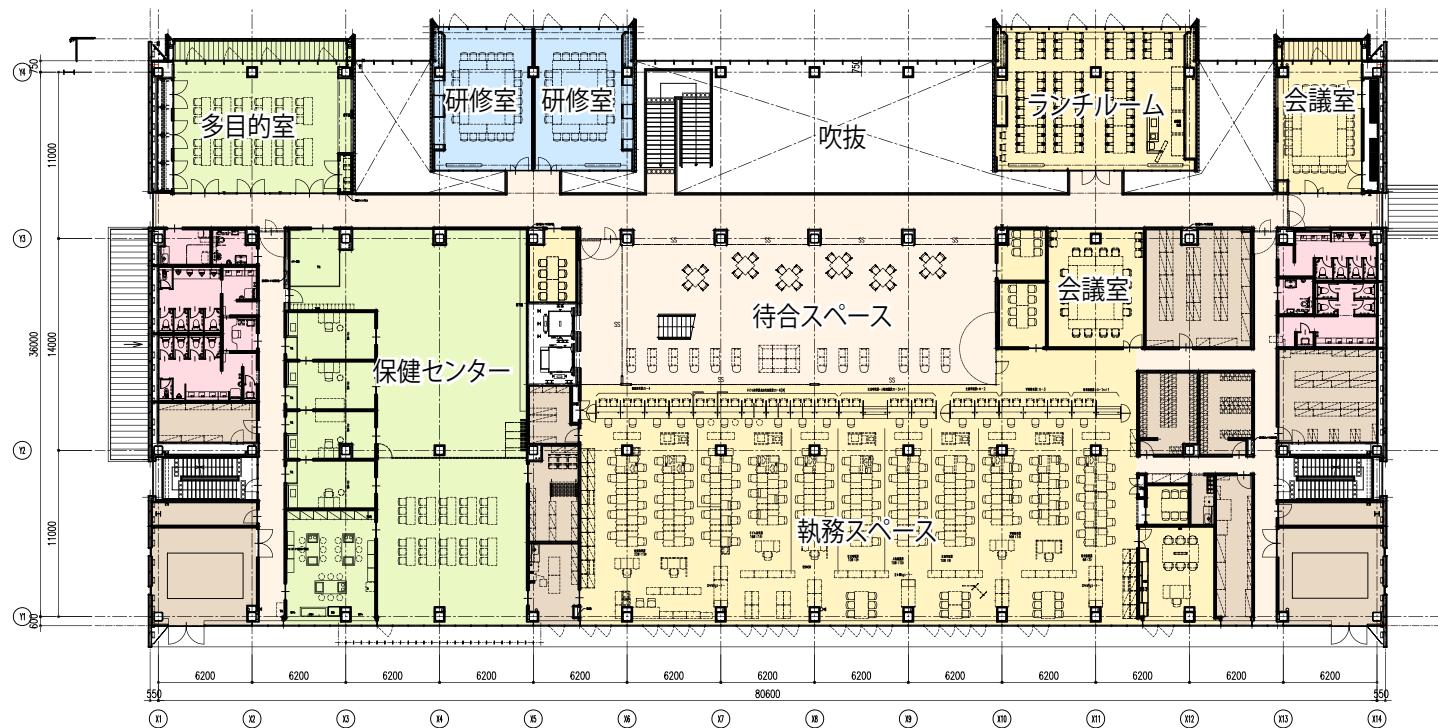
□合理的な事務系フロア

- ・3階の事務系フロアは、中廊下型とすることで、多くの課をコンパクトにまとめたフロアとします。

□開かれた議場

- ・議場は親子室の設置や屋外テラスからの傍聴も中の様子を見る事が可能な計画とし、開かれた議場とします。

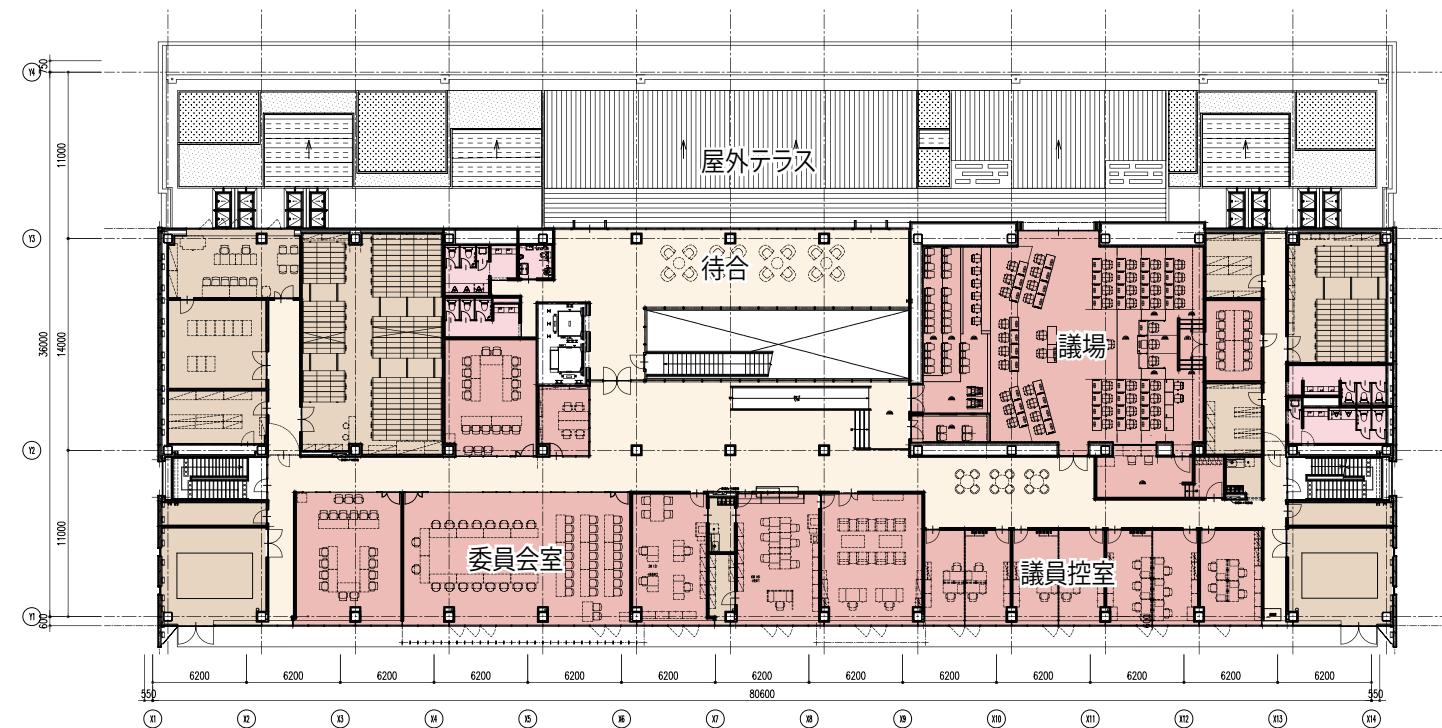
凡例	
市民交流スペース	議場、議会関係諸室
保健センター	倉庫、書庫
市民窓口、会議室、執務室	WC



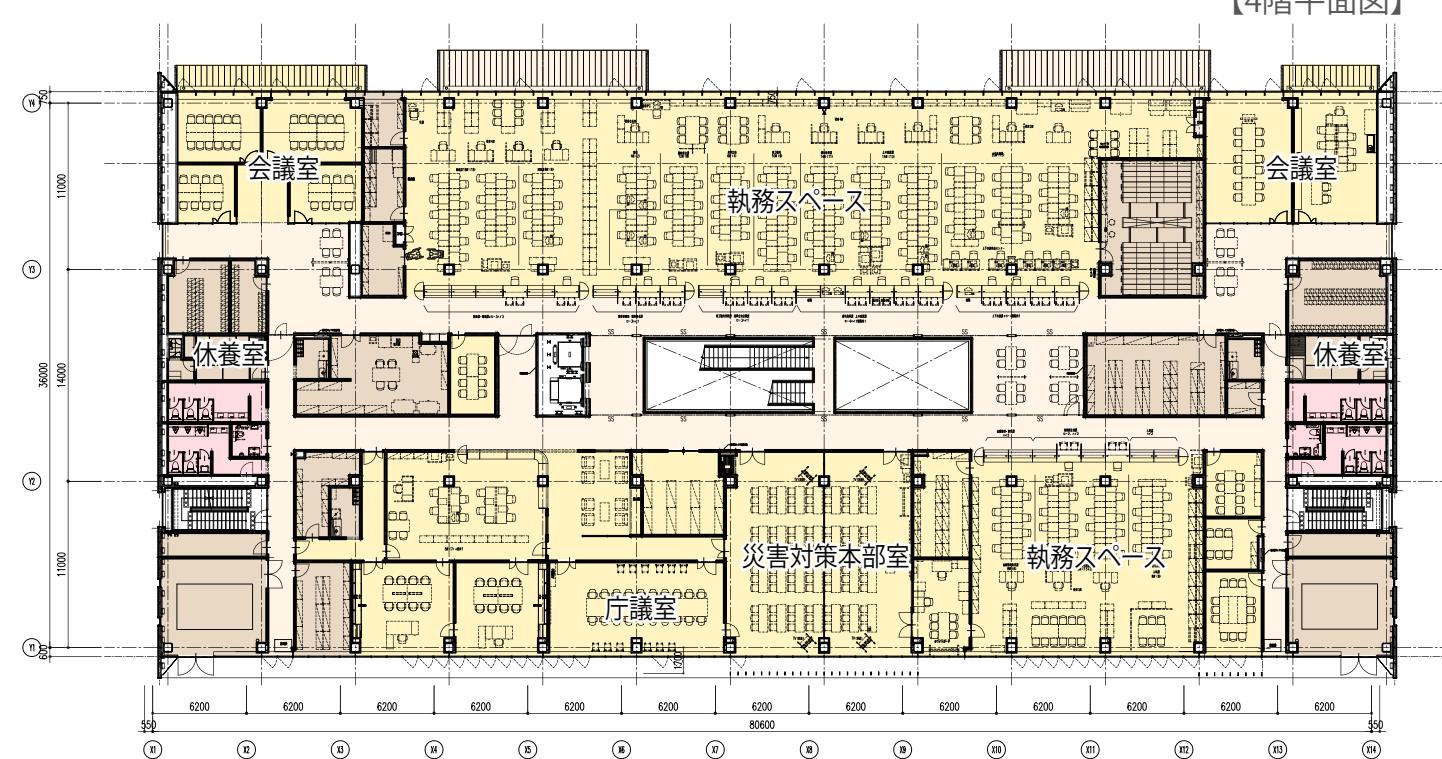
【2階平面図】



【1階平面図】



【4階平面図】



【3階平面図】